



第1734回 2021年5月20日（木）《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘

2. 合 唱 「それでこそロータリー」

3. お客様の紹介

- ・ 秦野市こども健康部部長 梶山 様
- ・ 秦野市こども健康部保育こども園課 清重 様

4. 会長の時間

【感謝状授与】



＜秦野市こども健康部部長 梶山 様より＞

○この度は市内こども園9園に対し、絵本を寄贈頂き誠にありがとうございました。

ご承知の通り、コロナ禍にありまして園の運営も感染対策等をかなりしっかりと行っておりますが、反面子どもたちもたいへん心にストレスを感じているだろうと現場では思っております。

このような中で今回絵本の寄贈を受けました。子供たちがストレスを感じているとともに家庭の中で保護者がストレスを感じているということを恐らく口には出しませんが、そういったことも子供たちのストレスを深めているのではなかろうかと感じております。今回絵本ということによっていろいろな想像の世界があって現実から少しでも子供たちがこの絵本によって違う世界を感じられるということもできて、癒されるそのような魅力が本にはあると思っています。

このような意味からもたいへん有難いご寄付だと思っておりますし、園児は元より園児を支える保育者にとってもたいへん有難いと感じております。

伺ったところ次年度も同じようなご寄付を継続して頂けるということで、たいへん期待しておりますので、よろしくお願い致します。どうもありがとうございました。



5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①職業奉仕月間卓話に関するアンケート依頼
- ②資料配信：次年度クラブ研修（5月15日開催）
- ③RI バーチャル台北国際大会のプログラムのお知らせ
- ④【オンライン視聴のご案内】日本のロータリー100周年を祝う会記念式典・祝賀会

【受付文書】

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・第 1734 回例会次第
- ・第 1733 回例会週報

6. 記念日

- ・会社創業記念日 原郁さん (5/22)、原恵さん (5/22)
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日 諸星利さん (5/21)、山谷さん (5/23)
- ・御誕生記念日 (会 員)
(配偶者)

7. スマイル報告

- 神崎達朗さん「梅雨入りのよううっとうしい日が続いています。みなさんお身体ご自愛下さい。」
- 鈴木和夫さん「秦野市こども健康部梶山部長・清重様ようこそおいで下さいました。よろしくお願い致します。スッキリしない天候ですね。梅雨入りです。健康に注意しましょう！」
- 古谷スミ子さん「秦野市こども健康部梶山部長・清重様お忙しい中有難うございます。よろしくお願い致します。」
- 山谷洋子さん「こども健康部梶山部長・清重様ようこそおいで下さいました。今日はどうぞよろしくお願い致します。結婚祝いありがとうございます。」
- 桐山晃忠さん「真のスマイルができない世の中ですが・・・スマイルします。」
- 北村まり子さん「コロナウィルスの予約できませんでした。」
- 原郁夫さん「創業記念のお祝いありがとうございます。」
- 原恵美子さん「創業御祝い有難うございます。うっとうしいと思いますが、雨に濡れた景色もきれいと思えば梅雨もいいものです。京都、雨の高台寺など今行ったら最高だと思います。」
- 東島礼美さん「先日鎌倉に行って来ました。あの暑い日です。緑に染まってきれいでした。」
- 諸星利男さん「雨ですね。心よりスマイルします。」
- 諸星道治さん「秦野市こども健康部梶山様・清重様ようこそ名水ロータリークラブへ。今日はよろしくお願い致します。」
- 矢端雅子さん「コロナ自粛に加え、ジメジメ梅雨の季節となりました。皆様ご自愛下さいませ。」
- 酒井健一さん「あと一か月ですね。尻すぼみしない様に宜しくお願いします。」



合計 48,000 円

8. 出席報告

○会員数 16 名、○出席義務 16 名、○出席数 13 名、出席率 81.25%

9. 地区委員会報告 ⇒ 無し

10. 委員会及びその他の報告 ⇒ 無し

11. 「こどもたちに夢の翼を贈ろう」について

＜神崎会長より＞

- 卓話の前に、こども園に絵本を贈った様子を J:COMさんがDVDにして下さいましたので見たいと思います。
これは「やまゆりこども園」の様子になります。



< 秦野市こども健康部保育こども園課 清重様 >



○本日はこのようなお時間を頂きありがとうございます。

只今、DVD で拝見させて頂きました「やまゆりこども園」での様子もお分かりかと思いますが、秦野名水ロータリークラブ様から絵本を頂き園児も大変喜んでしていると聞いております。

○本日はお手元の資料を使い、秦野市の認定こども園の取り組みについてお話しさせて頂きます。

まず、皆様は保育所と聞いてどのようなイメージをもたれますか？母親が日中仕事に出るため、お子さんを預かる施設ですね。今「保母さん」という言葉は使っておらず、保育所では「保育士」と言い 2003 年の児童福祉法の改正で国家資格という専門職、保育の知識や技術の向上など保育士の資質も求められるようになりました。保育所の中には生後 2 ヶ月の赤ちゃんからお預かりし、朝も 7 時から遅いところは夜の 7 時半までお預かりするので、食事もしますし、お昼寝もする、本当にお子さんが生活する施設です。

○平成 22 年までは市内の保育所は 19 園でした。待機児童を解消するため毎年施設数を増やし、認定こども園を含む保育所は令和 3 年 4 月時点で認定こども園を含む保育所は 31 園に、また定員 19 人までの小規模保育園が 2 園、更に保育ママによる家庭的知育事業が 3 園になりました。

平成 28 年には待機児童は 0 人となりましたが、翌年には 49 名となり更に整備を進め、ここ数年は毎年一ケタを維持している状況ですが、保育所の申込者数は毎年右肩上がりとなっています。

○では本市の幼稚園はどうでしょうか？本市の公立幼稚園の歴史は古く伝統と歴史があり、1 小学校区 1 幼稚園を基本に 14 園設置しました。14 の幼稚園のうち 6 つが認定こども園となり、現在は 8 園公立の「幼稚園」が設置されています。幼稚園は 4 歳児・5 歳児、私立は満 3 歳児からどなたでも通うことができる教育施設です。

○この幼稚園と保育園の両方の機能を備えた施設が「認定こども園」と呼ばれるものとなります。幼稚園でいう「教育」、保育所でいう「保育」を一緒に行う施設で働く「認定こども園」の先生は「保育教諭」と呼ばれ「保育士資格」と「幼稚園教諭免許」の両方が必要です。

県内でもほとんどの市町村が公立の保育所がありますが、実は秦野市には現在公立の保育所はありません。ご存知でしたか？

秦野市では公立の保育施設は現在すべて「認定こども園」として運営しています。

○ [ここから配布資料を参照]

○秦野市の場合、国のこども園の制度に併せて施設や体制を整備してきたということではなく、行政改革的な側面から国の制度に先駆けて幼保の施設の一本化を進めてきました。「政策的に 1 小学校区 1 幼稚園」を基本に整備を進めてきたことで、公立の幼稚園が充実していたということ、そして少子化や就労形態の変化に

よる園児数の減少に伴う余裕教室の活用と待機児童対策といった行政課題を解決するための発想がスタートだったということです。

就学前児童の教育・保育を一体的に実施するとともに、地域の子育て家庭を支援する総合施設として整備し、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めるため、幼稚園と保育園の施設の一体化に取り組んできました。

また二つの施設が一つになれば、管理する経費は少なくて済みますし、移転後の空いた保育所施設に民間の保育園を誘致することで待機児童対策にも資するとの考えによるものです。実際、渋沢保育園と広畑保育園が移転した後に、民間の保育園が園舎を活用して運営されています。

- 今後は、公立のこども園として担う役割として、例えば障害のある子を受け入れる保育の推進、疾病、貧困、虐待などの問題を抱える家庭を支援するため、支援が必要な子どもを積極的に受け入れるなど、地域の子育て拠点としての取り組みを進めていきたいと考えています。

- 秦野市の幼児教育について、秦野市では公立の幼稚園、認定こども園のほとんどが小中学校に隣接、近接している特徴を活かし、平成23年4月から幼少中一貫教育を全市的な取り組みとして推進してきました。現在は公立私立保育園、こども園、幼稚園、の枠を超えた新たな展開による「園幼少中一貫教育」を推進することで、これまで以上に本市の子どもたちの育ちや学びに寄り添い、見守っていく体制を構築していきます。

- [資料最終ページ参照] ⇒ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

以上の指標を踏まえ、就学前の幼児の資質、能力を育みます。

園小中一貫教育を推進するため、集団生活を確保しながら、学びの基盤となる試験などで数値化できない、目標や意欲、興味・関心を持ち、粘り強く、仲間と協調して取り組む姿勢を育むことや園から小学校への滑らかな接続が求められています。

市ではこの「園小中一貫教育」を推進するため、令和5年をめどに、育ちや学びの連続性を意識した段階的、系統的指導の指針となる「園小接続カリキュラム」を作成する予定です。

- 現在コロナ禍において、各園感染症対策を講じながら、また園の遊びや行事もいろいろ工夫しながら、皆生活している状況です。

この度、秦野名水ロータリークラブ様からのご寄付につきましては、「子供たちに夢の翼を送ろう」という次世代へのプレゼント、そのお気持ちを頂きました。

私たち行政も、子育て支援事業の充実に努め、次世代の子どもたちに素晴らしい環境を残すことができるようにして参ります。

以上ありがとうございました。



12. 点 鐘